

## 第1号議案 令和6年度中野区一般会計補正予算 賛成討論

ただいま上程されました第1号議案、令和6年度中野区一般会計補正予算に対し、公明党議員団の立場から、賛成の討論を行います。

当該補正予算は、歳入歳出予算の総額に、それぞれ24億3,706万5千円を追加し、歳入歳出の予算の総額を、それぞれ2,108億2,746万4千円とするものです。

当該補正予算の概要としては、現下の物価高騰の影響を踏まえ、国で公明党が推進した総合経済対策に盛り込まれた、令和6年度住民税均等割非課税世帯に対し3万円の給付及び当該世帯が扶養する18歳以下の子ども一人あたり2万円の加算給付に加え、対象を拡大し独自支援策となる令和6年度住民税均等割のみ課税世帯及び、令和6年度の課税所得の世帯合計150万円未満の世帯、さらに当該世帯が扶養する18歳以下の子ども一人あたりへの加算給付をするものです。

公明党議員団として、昨年度も区独自の低所得者向け支援を求め、私も令和5年第2回定例会の一般質問で「区独自の低所得者世帯給付金について区長の見解」を求め、区独自支援が実施されました。

令和6年12月12日、公明党議員団では「物価高騰対策及び安心・安全の確保に向けた緊急要望」を区長に提出し、国が実施する物価高騰下での経済対策として、特に低所得者への支援としての給付金に加え、「物価高の影響が特に大きい低所得世帯の区民に対し給付金の支給を迅速に行うこと。区としては、さらに非課税世帯と同水準にある低所得世帯にも広げ支援を届けること。」を求めました。

区民の生活に大きな影響を及ぼしている物価高騰、特に影響が大きい低所得者層への支援策として、非課税世帯に加え、区が昨年度と同様に加算給付を行うことを評価するとともに、当該補正予算が、区民の生活

の下支えとなることを強く願ひ、公明党議員団としての賛成討論と致します。

以上